

地域銀行の平成 25 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益が減少したものの、債券等関係損益が増加したことなどにより、前期に比べ 1.2% の増加。
- 当期純利益は、与信関係費用が増加したものの、株式等関係損益が改善したことなどにより、前期に比べ 12.2% の増加。

(単位：億円)

	23 年 3 月期	24 年 3 月期	25 年 3 月期	前期比
業務粗利益	50,002	49,107	48,543	▲ 564
資金利益	43,184	42,396	41,048	▲ 1,348
役務取引等利益	4,585	4,594	4,790	196
債券等関係損益	1,552	1,363	1,958	595
うち、債券等償却(▲)	▲ 217	▲ 136	▲ 142	▲ 6
経費(▲)	▲ 32,003	▲ 31,912	▲ 31,143	769
実質業務純益	17,998	17,195	17,399	204
与信関係費用(▲)	▲ 6,145	▲ 2,912	▲ 3,650	▲ 738
株式等関係損益	▲ 1,070	▲ 1,230	▲ 811	419
うち、株式等償却(▲)	▲ 929	▲ 797	▲ 721	76
当期純利益	6,527	7,272	8,157	885

(参考)

	23 年 3 月期	24 年 3 月期	25 年 3 月期
貸出金(末残)	207.9 兆円	213.1 兆円	219.1 兆円

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前期に比べ横ばい、不良債権比率は低下。

	23 年 3 月期	24 年 3 月期	25 年 3 月期
不良債権額	6.7 兆円	6.8 兆円	6.8 兆円
不良債権比率	3.2 %	3.2 %	3.1 %

3. 自己資本比率の状況

- 国際統一基準行は、25 年 3 月期よりバーゼル 3 の適用を開始。

(国際統一基準行：10 行)

	25 年 3 月期
総自己資本比率	14.3 %
Tier 1 比率	12.0 %
普通株式等 Tier 1 比率	11.9 %

(国内基準行：96 行)

	25 年 3 月期
自己資本比率	11.2 %

(注1) 集計対象は地方銀行64行、第二地方銀行41行及び埼玉りそな銀行の計106行(25年3月末時点)

(注2) 計数は単体ベース。ただし、不良債権の計数には、再生専門子会社分を含む。

(注3) 与信関係費用及び債券等償却、株式等償却について、正の値は益を、負の値は損を表す。

(注4) 24年3月期の計数については、一部銀行の計数訂正を受け修正しているため、過去の当庁公表数値と異なる。